

今日から明日へとたゆみなく続くまちづくり、地元事業者の皆さんの活躍は大きな力です。町民の皆さんも、応援をよろしくお願いします。今回は、木之間で『折井板金』を営む折井直孝さんをご紹介します。



おりい なおたか
折井直孝さん (35歳)
『折井板金』経営

Q1 仕事の内容をご紹介ください

住宅や別荘、店舗、工場などの屋根、雨樋、煙突の施工・修理です。キッチンや厨房のステンレス施工も手がけています。

Q2 この仕事を選んだ理由は？

父が始めた仕事を引き継いで15年になります。

Q3 仕事の中でご苦労されていることは？

屋根の上での仕事が多いため、夏は炎天下での作業、冬は身軽で居るために薄着での作業となることです。作業が天候に左右されるので、天気予報にも注意しています。

Q4 この仕事をしていて良かったことは？

仕事の段取りをすべて自分で行い、施工もすべて自分で行うところに面白みを感じます。

Q5 今後の抱負をお聞かせください

父の代に揃えた機械や道具、現在の仕事を、これからも崩さずに続けていきたいと思っています。



屋根葺き作業

◀住宅の屋根材となるカラー鉄板を切る作業

最後に一言!

新築の家や別荘の屋根を手がけることも多いのですが、家を建てることは、一生のうちでも大きなことだと思います。苦労して建てた家を、大切に長く使っていけると良いと思います。

よっちゃんばりの知恵袋③

野沢菜の株の煮物

畑に残った野沢菜の根を美味しく食べる方法をお伝えします。



12月上旬、野沢菜をおろぬき、株を切り落とします。

昔はこれがごちそうでした。お試しください!



根を落とし、洗って厚めに切り、風通しの良い場所で1週間ほど日に干します。



十分に水分がなくなるまで乾燥したら、網に入れて保存します。



①:乾燥させた株を一晩水に浸けて戻し、砂糖と醤油で薄く下味をつけて煮ます。(あまり柔らかくしすぎない。) ②③:あぶらえをすり鉢ですり、1/3量の砂糖と、塩を多めに入れて混ぜ、株を和える。



歯ごたえのある美味しい一品に。